

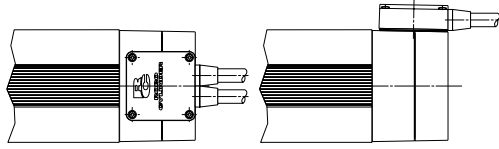
スライダタイプ / ロッドタイプ / テーブルタイプ オプション

ケーブル取出し方向

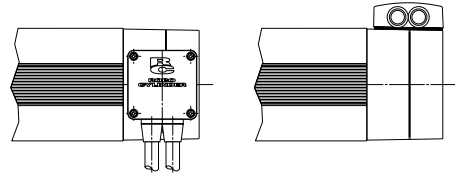
型式 A1 / A2 / A3

説明 アクチュエータケーブルの取出し方向を変更したい場合に指定します。

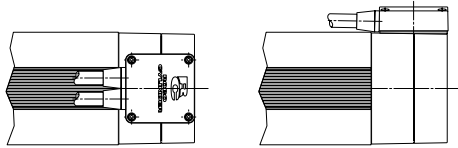
モータ方向取出 (標準) ■オプション指定なし (無記入)



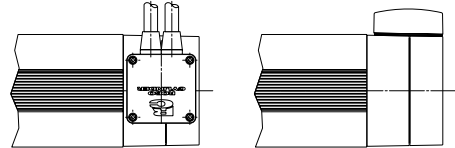
左側取出 ■オプション指定: A1



ロッド方向取出 ■オプション指定: A2



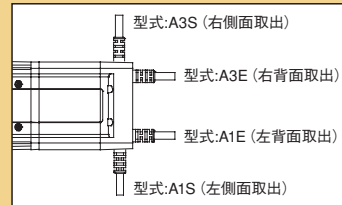
右側取出 ■オプション指定: A3



型式 A1S / A1E / A3S / A3E

説明 アクチュエータケーブルの取出し方向を、左背面、左側面、右背面、右側面の4種類から選択出来ます。

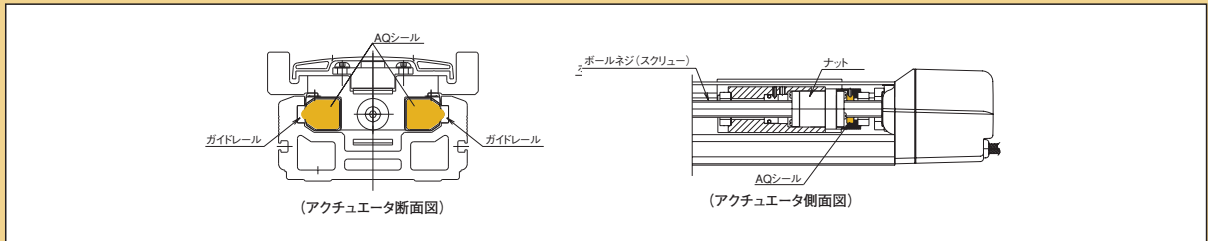
※ 取出し方向はいずれかを必ず選択して頂きます。



AQ シール

型式 AQ

説明 AQシールは潤滑油を樹脂で固化した潤滑部材を使用した潤滑ユニットです。多量の潤滑油を含んだ多孔質部材であるため、毛細管現象によりその表面に潤滑油が染み出す特徴をもっています。AQシールをガイド及びボールネジの表面 (鋼球転動面) に押し当てることで潤滑油が供給され、グリースとの併用による相乗効果で長期のメンテナンスフリーが可能となります。



ブレーキ

型式 B / BE / BL / BR / BN (ブレーキボックス無)

説明 アクチュエータを垂直で使用する場合に、電源 OFF またはサーボ OFF 時にスライダが落下して取り付け物等を破損しないための保持機構です。ISA / ISPA シリーズの S、M、L タイプに設定されている Z 軸タイプ (SZM、MZM、LZM) 及び NS シリーズの SZMS、SZMM、MZMS、MZMM、LZMS、LZMM タイプは、最初から垂直用に設定されているためブレーキが標準で付いています。Z 軸以外の軸を垂直で使用する場合は、オプションのブレーキをご使用ください。外径寸法は Z 軸タイプのブレーキ寸法をご参照ください。

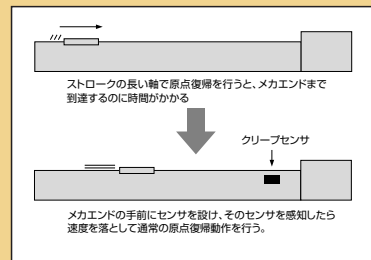
また NS シリーズの MZMS、MZMM、LZMS、LZMM タイプは、アクチュエータとコントローラのエンコーダ配線の途中にブレーキボックスが必要になります。

クリープセンサ

型式 C (標準) CL (反対側取付)

説明

原点復帰を高速で行うためのセンサです。
通常原点復帰は、モータ側ストロークエンドのストッパにスライダを押し当てて反転させる方式のため、原点復帰速度は10～20mm/sに抑えられています。
その為ストロークが長いタイプは原点復帰が完了するまで時間がかかりますので、それを短縮させるために途中までは高速でスライダを戻し、原点手前で速度を通常原点復帰速度へ落とすための近接センサです。
センサの取り付け位置は、モータ側から見てアクチュエータ本体右側が標準(型式:C)となります。(2-627ページリミットスイッチ図参照)
センサの外側にはリミットスイッチと同様のカバーが付きます。
センサを反対側(勝手違い)に設置したい場合は、CL(取付位置勝手違い)をご選択ください。



CE 対応

型式 CE

説明

1-359 ページ CE マーク対応表をご参照ください。
標準で CE に対応していない機種で、CE 対応が必要な場合は本オプションをご指定ください。

天吊り取付け仕様

型式 CIM

説明

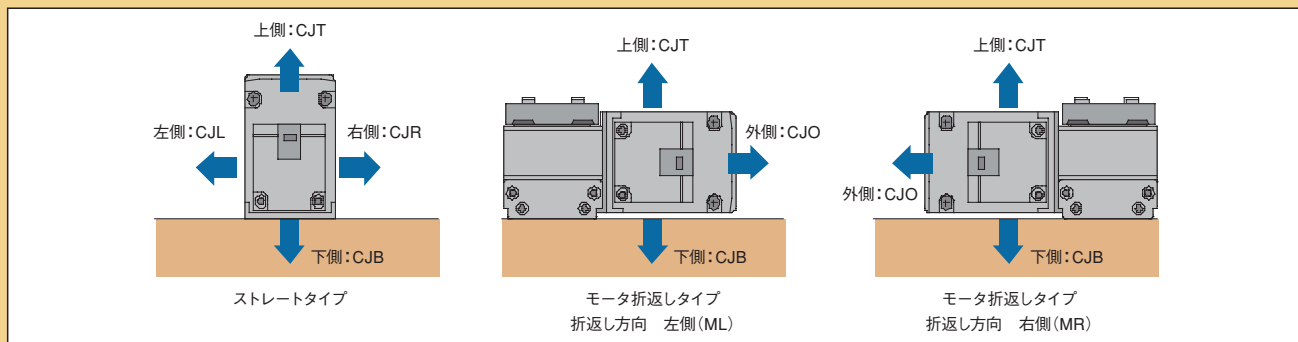
RCP5ベルトタイプで、天吊り設置を行う場合に選択していただくオプションです。

ケーブル取出し方向変更

型式 CJT / CJR / C JL / CJB / CJO

説明

アクチュエータ本体に装着するモータ・エンコーダケーブルの取付方向を上下左右に変更することが出来ます。



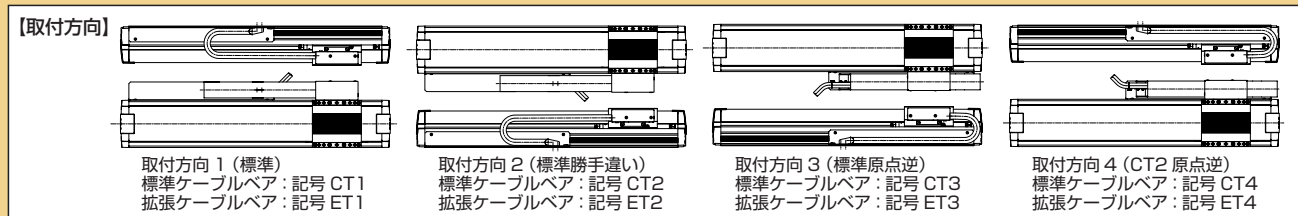
標準ケーブルベア取付方向 / 拡張ケーブルベア取付方向

型式 CT1 / CT2 / CT3 / CT4 (標準ケーブルベア取付方向)

ET1 / ET2 / ET3 / ET4 (拡張ケーブルベア取付方向) ※ 拡張ケーブルベアは大型タイプ限定となります。

説明

ケーブルベアの取付方向を下記の4種類(標準取付方向含む)から選択が可能です。(本体ベースはリーマ穴が右側、長穴が左側になります)また標準のケーブルベアでは容量が足りない場合に、容量を増やした拡張ケーブルベアの選択が可能です。(大型タイプ限定)



ダブルガイドブロック

型式 DB

説明

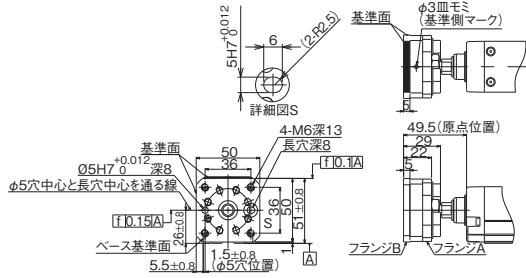
内部ガイドブロックを2つにするオプションです。動的許容モーメントがMa、Mb方向にアップし、水平平置き設置時の可搬質量が標準仕様の2倍になります。

先端アダプタ (フランジ)

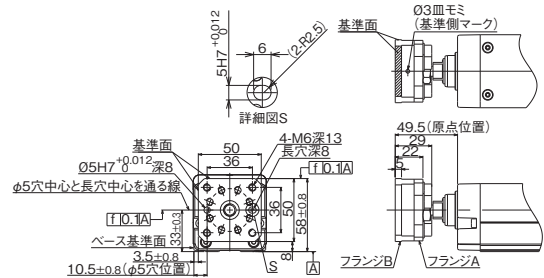
型式 **FFA**

説明 ロッド先端に治具等をボルト4本で取り付けるためのアダプタです。

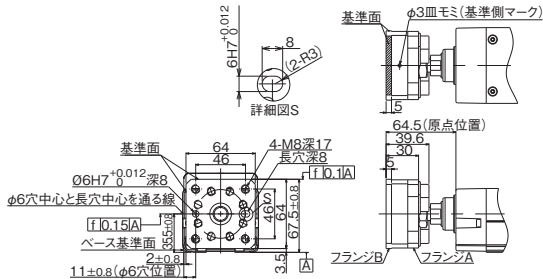
RCP6(S)-RRA4□
単品型式 RCP6-FFA-RRA4



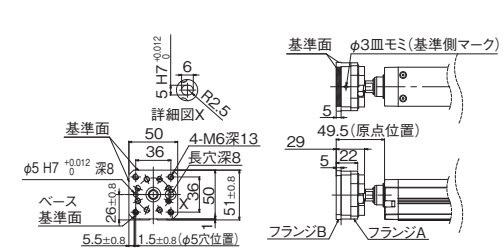
RCP6(S)-RRA6□
単品型式 RCP6-FFA-RRA6



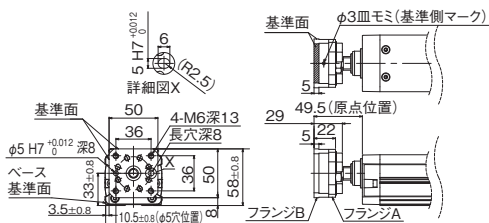
RCP6(S)-RRA7□
単品型式 RCP6-FFA-RRA7



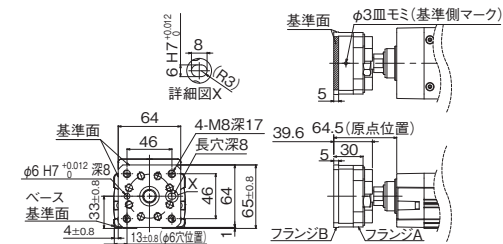
RCP5-RA4C/RA4R
単品型式 RCP5-FFA-RA4



RCP5-RA6C/RA6R
単品型式 RCP5-FFA-RA6

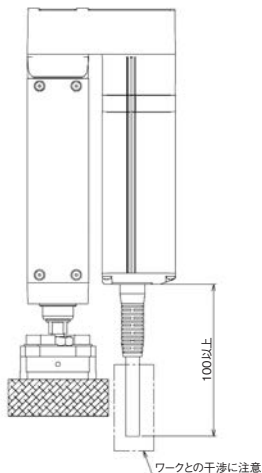


RCP5-RA7C/RA7R
単品型式 RCP5-FFA-RA7



先端アダプタオプション(FFA、NFA、KFA)選定時のご注意

■RCP6(S)-RRA4R/RRA6R/RRA7R、RCP5-RA4R/RA6R/RA7Rにおいて、先端アダプタオプション(FFA、NFA、KFA)を選定する場合、一部ストロークにおいてワークとケーブルが干渉する恐れがありますので、短いストロークを選定する場合は、周辺物との干渉にご注意ください。



上図は、先端アダプタ(フランジ(FFA))の場合です。

スライダタイプ / ロッドタイプ / テーブルタイプ

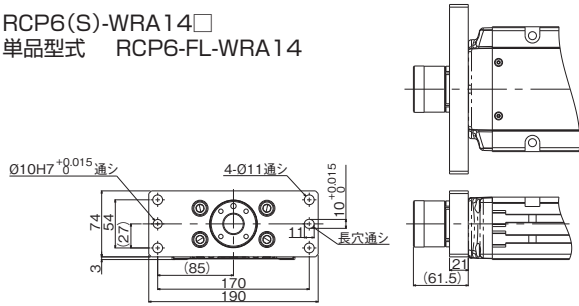
スライダタイプ

ロッドタイプ

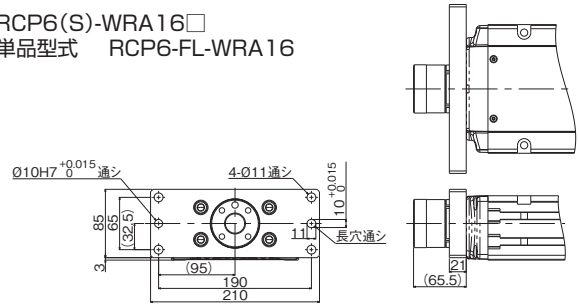
テーブルタイプ

リニアサーボ

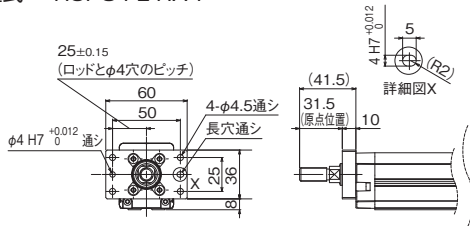
RCP6(S)-WRA14□
単品型式 RCP6-FL-WRA14



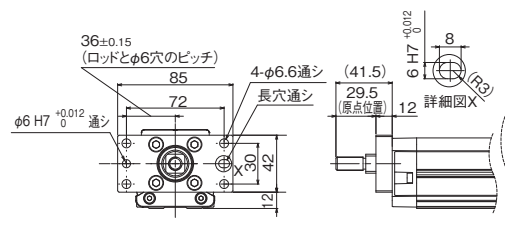
RCP6(S)-WRA16□
単品型式 RCP6-FL-WRA16



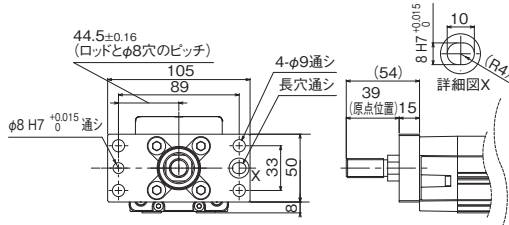
RCP5-RA4C/RA4R
単品型式 RCP5-FL-RA4



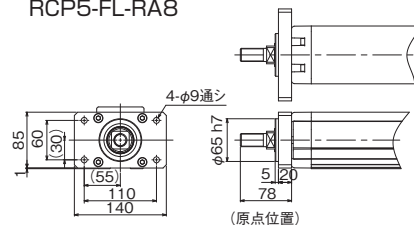
RCP5-RA6C/RA6R
単品型式 RCP5-FL-RA6



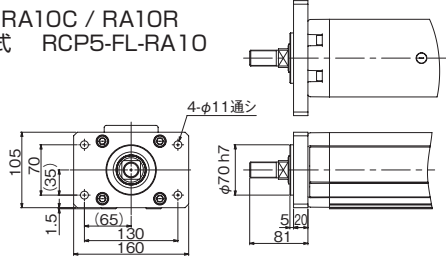
RCP5-RA7C/RA7R
単品型式 RCP5-FL-RA7



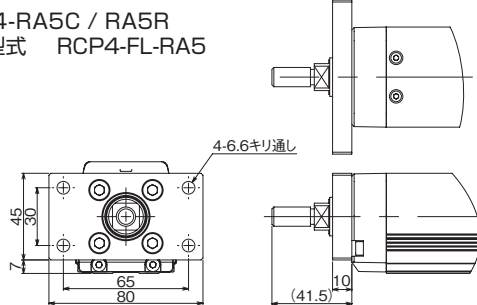
RCP5-RA8C / RA8R
単品型式 RCP5-FL-RA8



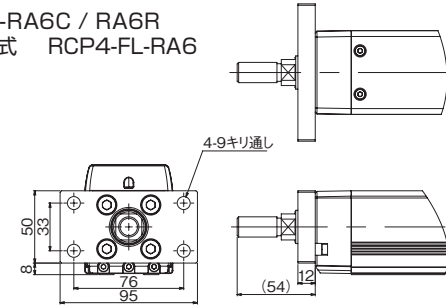
RCP5-RA10C / RA10R
単品型式 RCP5-FL-RA10



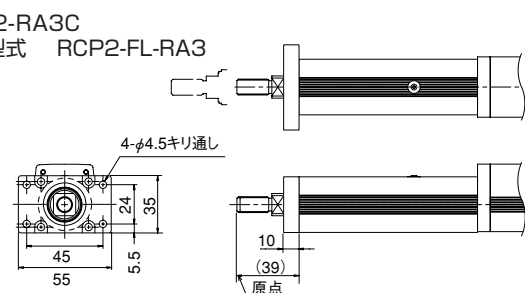
RCP4-RA5C / RA5R
単品型式 RCP4-FL-RA5



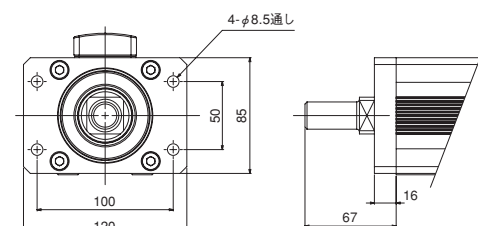
RCP4-RA6C / RA6R
単品型式 RCP4-FL-RA6



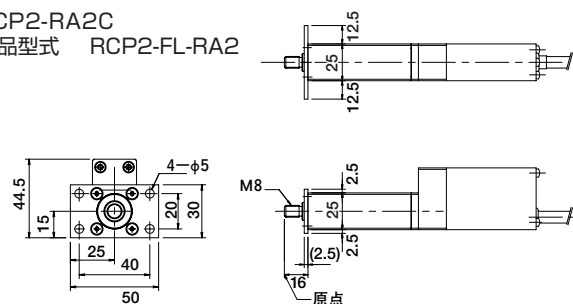
RCP2-RA3C
単品型式 RCP2-FL-RA3



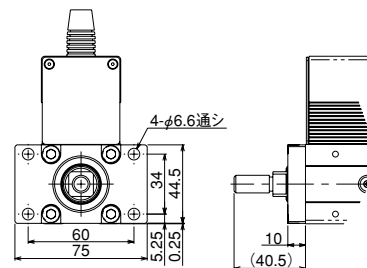
RCP2-RA8C/RA8R
単品型式 RCP2-FL-RA8



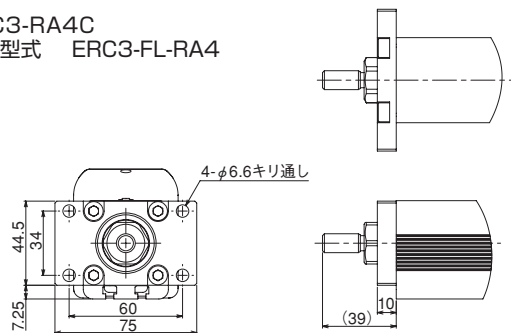
RCP2-RA2C
単品型式 RCP2-FL-RA2



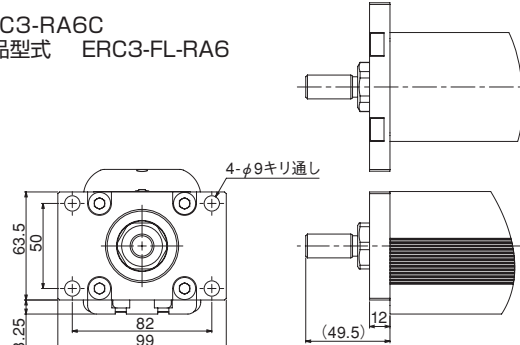
RCP2/RCA-SRA4R
単品型式 RCP2-FL-SRA4



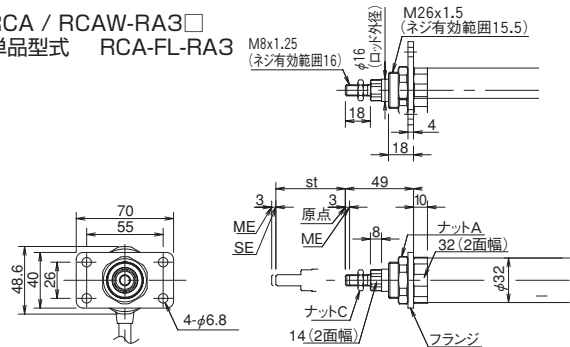
ERC3-RA4C
単品型式 ERC3-FL-RA4



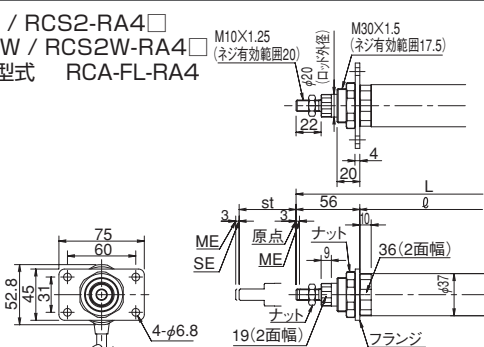
ERC3-RA6C
単品型式 ERC3-FL-RA6



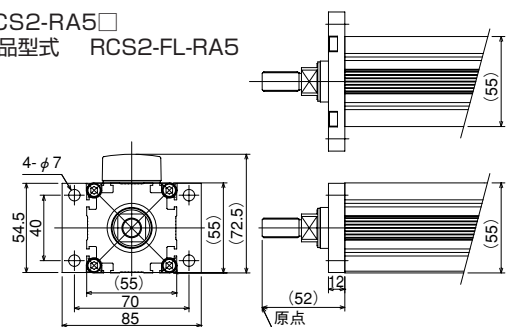
RCA / RCAW-RA3□
単品型式 RCA-FL-RA3



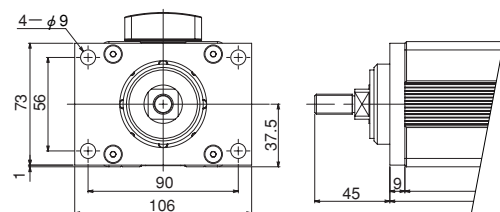
RCA / RCS2-RA4□
RCAW / RCS2W-RA4□
単品型式 RCA-FL-RA4



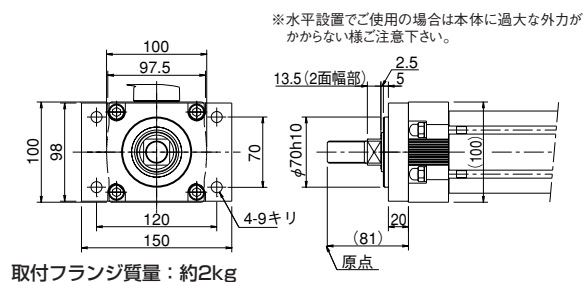
RCS2-RA5□
単品型式 RCS2-FL-RA5



RCS2-SRA7BD
単品型式 RCS2-FL-SRA7

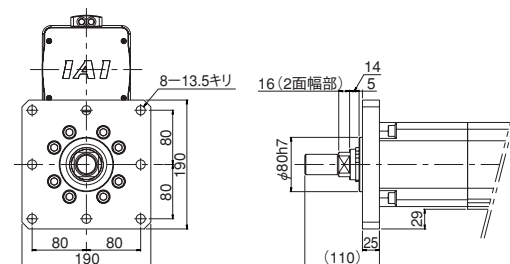


RCP2 / RCP2W-RA10C
単品型式 RCP2-FL-RA10



取付フランジ質量：約2kg

RCS2-RA13R
単品型式 RCS2-FL-RA13



フランジ(前)オプション選定時のご注意

■RCP6S/RCP6/RCP5において、次のストロークを選定する場合、
ロッド取付オプションのフランジ(前)は選定できません。

RCP6S

- ①RA4R 50~100ストローク(標準/ブレーキ付)
- ②RA6R 50~100ストローク(標準/ブレーキ付)
- ③RA7R 50~150ストローク(標準/ブレーキ付)
- ④RA8R 50~150ストローク(標準/ブレーキ付)
- ⑤RRA4R 60~110ストローク(標準/ブレーキ付)
- ⑥RRA6R 65~115ストローク(標準/ブレーキ付)
- ⑦RRA7R 70~120ストローク(標準/ブレーキ付)

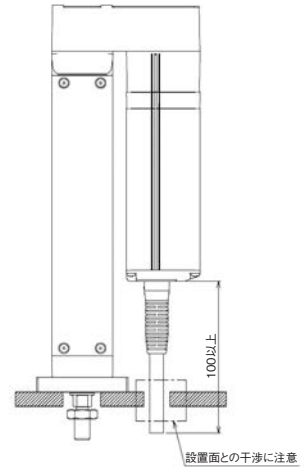
RCP6

- ①RA4R 50ストローク(標準/ブレーキ付)
- ②RA6R 50ストローク(標準/ブレーキ付)
- ③RA7R 50~100ストローク(標準/ブレーキ付)
- ④RA8R 50~100ストローク(標準/ブレーキ付)
- ⑤RRA4R 60ストローク(標準/ブレーキ付)
- ⑥RRA6R 65ストローク(標準/ブレーキ付)
- ⑦RRA7R 70ストローク(標準/ブレーキ付)

(注) RRA8Rの50~100ストロークの取付方向は、縦方向のみに限定されます。

RCP5

- ①RA4R 60ストローク(標準)、60~110ストローク(ブレーキ付)
- ②RA6R 65ストローク(ブレーキ付)
- ③RA7R 70ストローク(標準)、70~120ストローク(ブレーキ付)



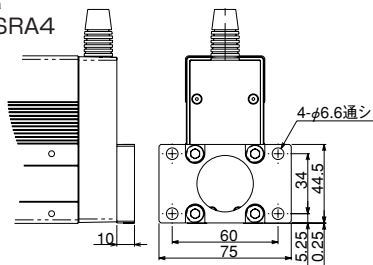
■RCP6(S)-RRA□R、RCP5-RA4R/RA6R/RA7Rにおいて、フランジ(前)を選定する場合、
一部ストロークにおいて設置面とケーブルが干渉する恐れがありますので、
短いストロークを選定する場合は、周辺物との干渉にご注意ください。

フランジ(後)

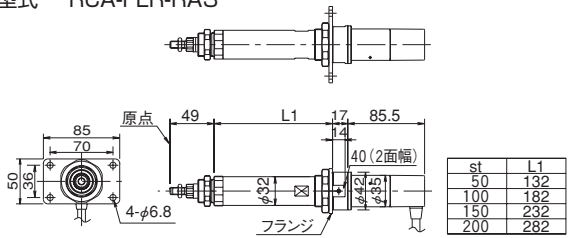
型式 FLR

説明 アクチュエータ(ロッドタイプ)を本体後側(モータ側)で固定するための金具です。

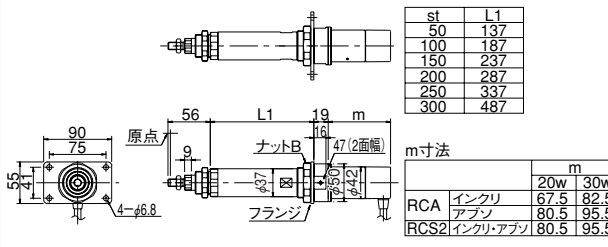
RCP2 / RCA-SRA4R
単品型式 RCP2-FL-SRA4



RCA / RCAW-RA3C, RA3D
単品型式 RCA-FLR-RA3

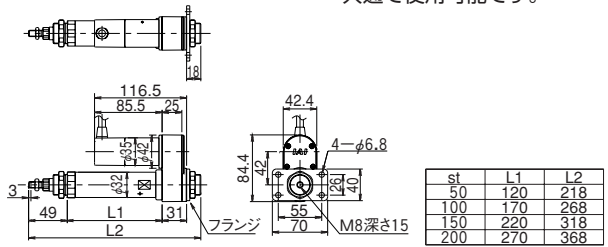


RCA / RCAW-RA4C, RA4D
RCS2 / RCS2W-RA4C / RA4D
単品型式 RCA-FLR-RA4



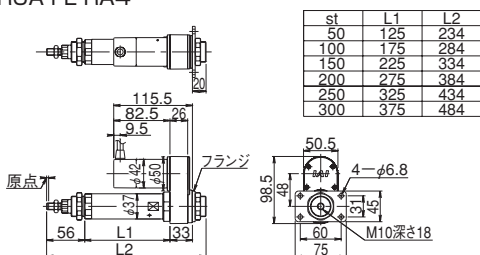
RCA / RCAW-RA3R
単品型式 RCA-FL-RA3

※モータ折返しタイプは、
フランジ(前)とフランジ(後)が
共通で使用可能です。



RCA / RCAW-RA4R
RCS2 / RCS2W-RA4R
単品型式 RCA-FL-RA4

※モータ折返しタイプは、前
フランジと後フランジが共
通で使用可能です。

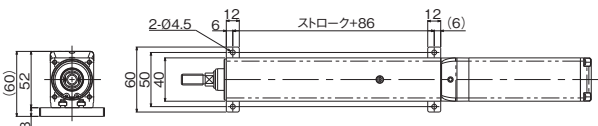


フート金具

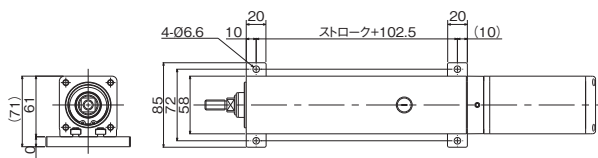
型式 FT

説明 アクチュエータ本体を上側よりボルトで固定するための金具です。
スライダタイプでモーメント荷重が大きい場合は本体の取付穴全てにフート金具を取付けてください。
フート金具が少ないと本体がたわみ、寿命が短縮する場合があります。
※ フート金具間の取付ピッチ寸法はアクチュエータ図面の取付ピッチ寸法をご参照ください。

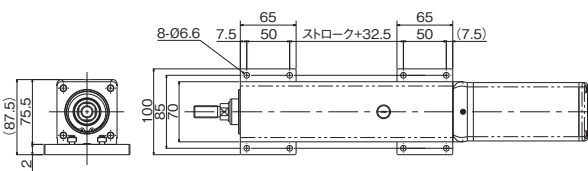
RCP6(S)-RA4C
単品型式 RCP6-FT-RA4C



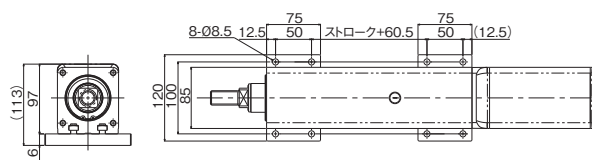
RCP6(S)-RA6C
単品型式 RCP6-FT-RA6C



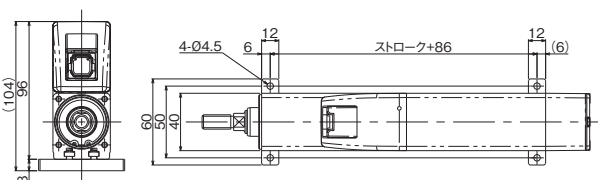
RCP6(S)-RA7C
単品型式 RCP6-FT-RA7C



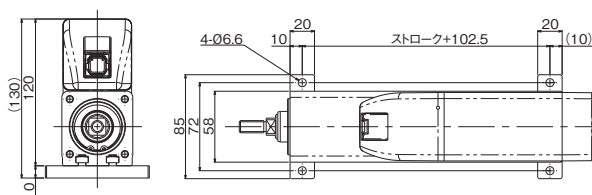
RCP6(S)-RA8C
単品型式 RCP6-FT-RA8C



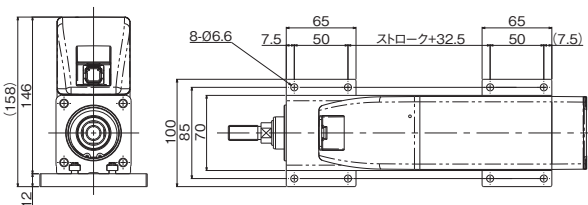
RCP6(S)-RA4R
単品型式 RCP6-FT-RA4R-1 (モータ上折返し用)



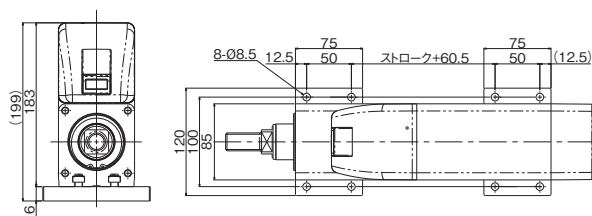
RCP6(S)-RA6R
単品型式 RCP6-FT-RA6R-1 (モータ上折返し用)



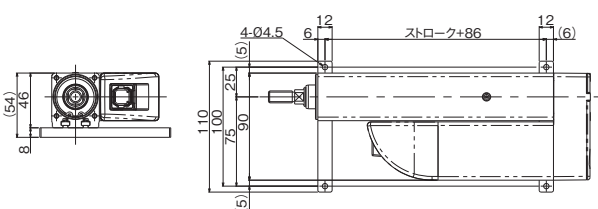
RCP6(S)-RA7R
単品型式 RCP6-FT-RA7R-1 (モータ上折返し用)



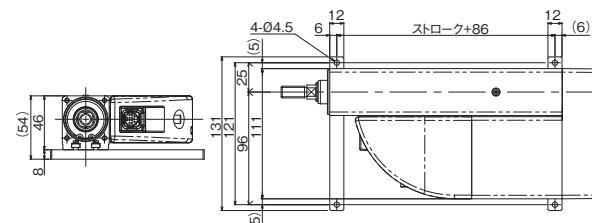
RCP6(S)-RA8R
単品型式 RCP6-FT-RA8R-1 (モータ上折返し用)



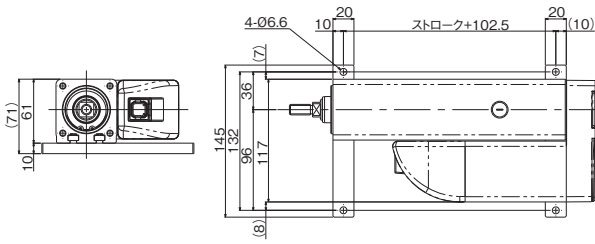
RCP6-RA4R
単品型式 RCP6-FT-RA4R-2 (モータ右/左折返し用)



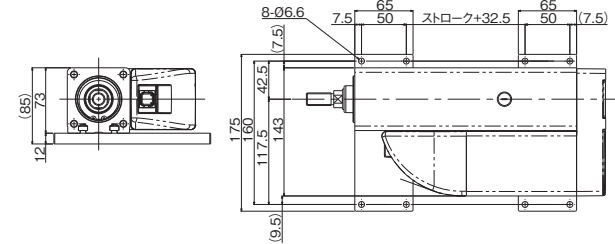
RCP6S-RA4R
単品型式 RCP6-FT-RA4R-3 (モータ右/左折返し用)



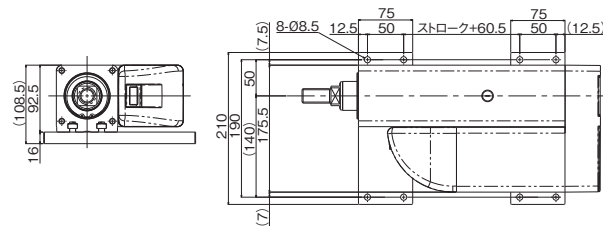
RCP6(S)-RA6R
単品型式 RCP6-FT-RA6R-2(モータ右/左折返し用)



RCP6(S)-RA7R
単品型式 RCP6-FT-RA7R-2(モータ右/左折返し用)

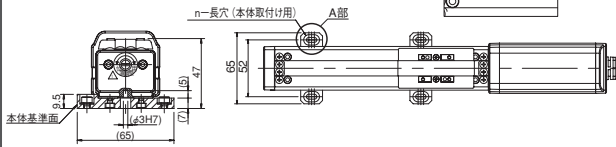


RCP6(S)-RA8R
単品型式 RCP6-FT-RA8R-2(モータ右/左折返し用)



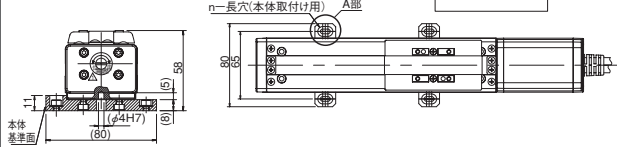
RCA(CR) / RCS2(CR)-SA4C / SA4D
単品型式 RCA-FT-SA4

※ アクチュエータのオプション記号 (FT) で手配すると、フット金具は 2 個付属されます。フット金具を追加したい場合は、単品形式にて必要数分を追加手配してください。



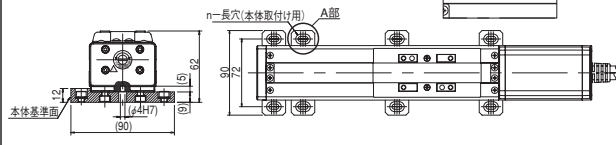
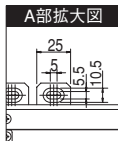
RCA(CR) / RCS2(CR)-SA5C / SA5D
単品型式 RCA-FT-SA5

※ アクチュエータのオプション記号 (FT) で手配すると、フット金具は 2 個付属されます。フット金具を追加したい場合は、単品形式にて必要数分を追加手配してください。



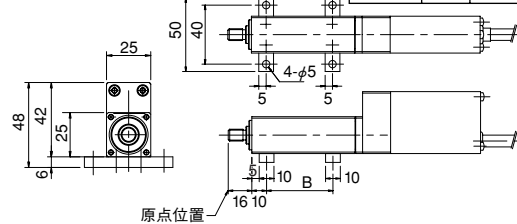
RCA(CR) / RCS2(CR)-SA6C / SA6D
単品型式 RCA-FT-SA6

※ アクチュエータのオプション記号 (FT) で手配すると、フット金具は 2 個付属されます。フット金具を追加したい場合は、単品形式にて必要数分を追加手配してください。

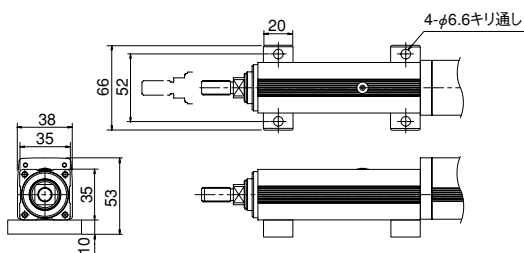


RCP2-RA2C
単品型式 RCP2-FT-RA2

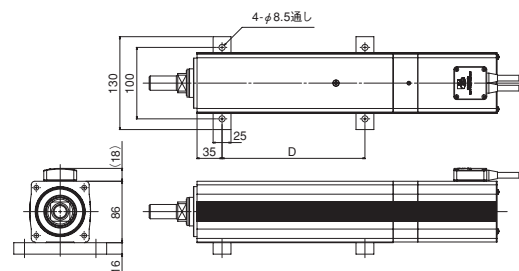
ストローク 寸法箇所	25	50	75	100
B	45	70	95	120



RCP2-RA3C
単品型式 RCP2-FT-RA3



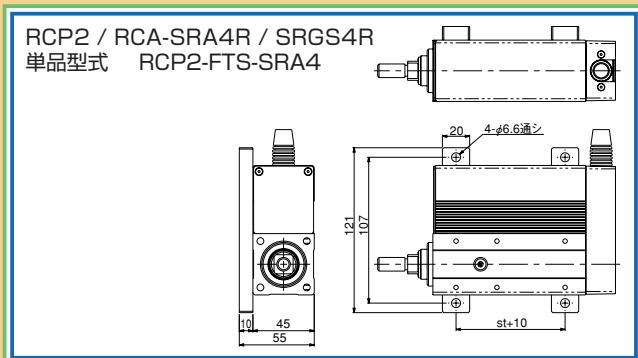
RCP2-RA8C / RA8R
単品型式 RCP2-FT-RA8



フート (右側面 / 左側面取付)

型式 **FT2 / FT4**

説明 アクチュエータ本体を上側よりボルトで固定するための金具です。RCP2(RCA)-SRA4Rは側面にも取り付けが可能です。



ガイド取付方向 (シングルガイドタイプ専用)

型式 **GS2 / GS3 / GS4**

説明 シングルガイド付タイプのロッドの位置を、右取付(GS2)、下取付(GS3)、左取付(GS4)から選択出来ます。

指定グリス塗布仕様

型式 **G1 / G3 / G4**

説明 アクチュエータのボールねじ、リニアガイド、ロッド摺動面に塗るグリスをクリーン環境用低発塵グリス(G1:クロダCグリス、G3:AFFグリス、G4:AFE-CAグリス)に変更します。

高加減速対応

型式 **HA**

説明 標準仕様の定格加速度(0.3G)を1Gにアップさせるオプションです。加減速1Gでも0.3Gと同じ可搬質量で動作が可能です。コントローラの設定が標準仕様と異なりますので、高加減速で動作する場合はコントローラも高加減速仕様にする必要があります。

高精度仕様

型式 **HPR**

説明 RCP6(S)のスライダタイプ、ワイドスライダタイプの標準仕様は、繰返し位置決め精度が±0.01mmです。このオプションを指定することで、繰返し位置決め精度が±0.005mmになります。 ※リード12mm以下のみ指定可能です。

原点確認センサ

型式 **HS** (HSR : 右側 / HSL : 左側)

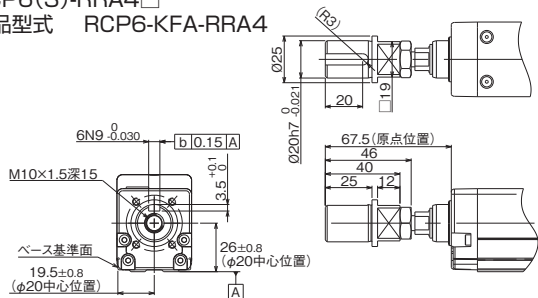
説明 原点復帰を実行した際、確実に原点位置にスライダが移動したかを確認するためのセンサです。
※ロッドタイプで原点逆仕様の場合は使用出来ません。

先端アダプタ (キー溝)

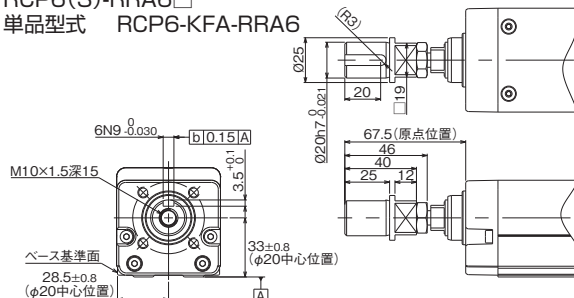
型式 **KFA**

説明 ロッド先端に治具等をボルト1本と平行キーで取り付けるためのアダプタです。

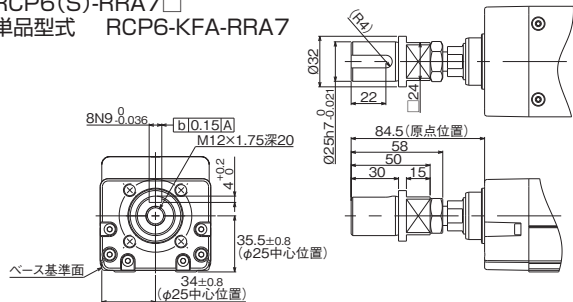
RCP6(S)-RRA4□
単品型式 RCP6-KFA-RRA4



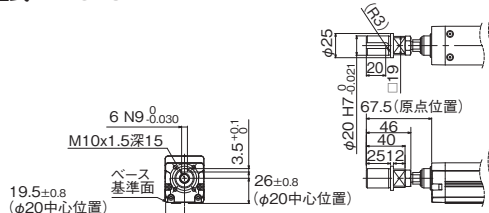
RCP6(S)-RRA6□
単品型式 RCP6-KFA-RRA6



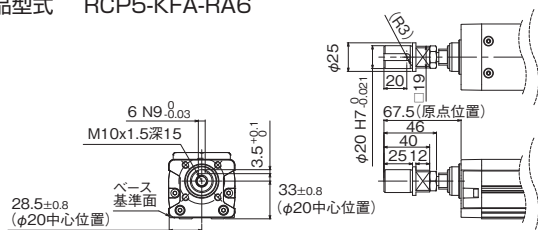
RCP6(S)-RRA7□
単品型式 RCP6-KFA-RRA7



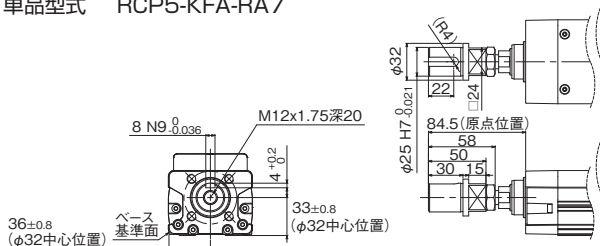
RCP5-RA4C/RA4R
単品型式 RCP5-KFA-RA4



RCP5-RA6C/RA6R
単品型式 RCP5-KFA-RA6



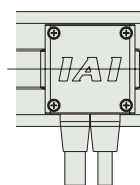
RCP5-RA7C/RA7R
単品型式 RCP5-KFA-RA7



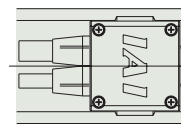
コネクタケーブル取出方向変更

型式 **K1 / K2 / K3**

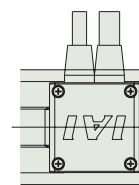
説明 コネクタケーブルの取出し方向を、左側／前側／右側の3方向から選択が出来ます。



型式:K1
(左側取出)



型式:K2
(前側取出)



型式:K3
(右側取出)

原点リミットスイッチ

型式 L(標準) LL(反対側取付)

説明

原点復帰を実行した際、押し当て方式はメカエンドに押し当たってから反転し原点を確定しますが、その反転のきっかけをセンサで行なうためのオプションです。Lオプションを指定しますと、HOME(原点検出用)、+OT(反モータ側オーバーtravel)、-OT(モータ側オーバーtravel)の3つの近接センサが装着されます。(HOMEと-OTは一体型のツインセンサとなります)

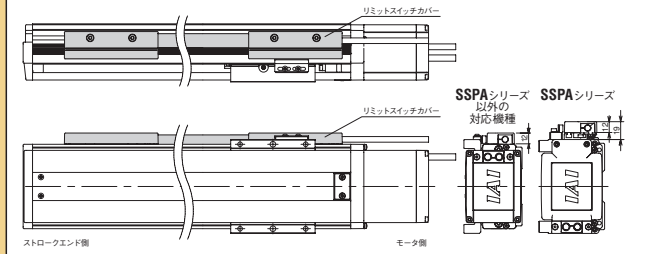
反転位置の微調整を行いたい場合や確実性を高めたい場合にご利用ください。(原点センサを大きく移動するとストロークが短縮する場合がありますのでご注意ください)

原点リミットスイッチ及びカバー取り付け位置は、モータ側から見てアクチュエータ本体の右側が標準(型式:L)となります。センサを反対側(勝手違い)に設置したい場合は、LL(取付位置勝手違い)をご選択ください。

ISA/ISPA-WXM/WXMX、NSシリーズは、リミットスイッチが本体内部に装着されますので本体側面にカバーは付きません。

また、ZRシリーズはインクリメンタル仕様の場合のみリミットスイッチが標準装備となり、アブソリュート仕様の場合はリミットスイッチは不要となります。

※ISP-W/ISPDCR-Wはリミットスイッチが標準装備となります。また、リミットスイッチは本体内に内蔵されますので、本体側面にカバーは付きません。(クリープセンサも内蔵されます)



省電力対応

型式 LA

説明

コントローラの電源容量を低減するオプションです。

標準仕様/高加減速対応の場合最大5.1Aが、省電力対応を選択すると最大3.4Aに低下します。

(機種によって最大値は変化しますので、詳細はACON/ASELコントローラの電源容量をご覧ください)

シンクロ動作時マスター軸指定/スレーブ軸指定

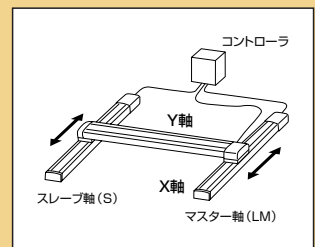
型式 LM(リミット仕様マスター軸指定) LLM(反対側取付) S(スレーブ軸指定)

説明

X-SELコントローラの機能のひとつに「シンクロ動作機能」があります。

これは2軸のアクチュエータを同時に動作させるもので、1軸をマスター(記号:M)とし、もう1軸がスレーブ(記号:S)となり、スレーブがマスターに対し超高速制御で追従することにより、2軸が同時に動作するものです。シンクロ動作を行う2軸のアクチュエータは、同じ仕様(タイプ、リードモータ出力、ストローク)にする必要があります。

シンクロ動作を行う場合は、マスター軸はリミットスイッチ仕様となりますので、手配の際はマスター軸の型式にLM(リミット仕様マスター軸指定)を、スレーブ軸の型式にS(スレーブ軸指定)を付けてください。リミットスイッチ及びカバー取付位置はモータ側から見てアクチュエータ本体の右側が標準となります。マスター軸のリミットスイッチを反対側(勝手違い)に設置したい場合はLLMをご選択ください。



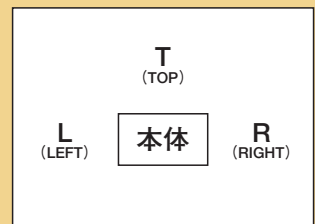
モータ折返し方向

型式 ML/MR/MT

説明

モータ折返しタイプのモータ折返し方向を指定する記号です。

左側折返しはML(全機種)、右側折返しはMR(全機種)、上側折返しはMTとなり、MLが標準となります。(RCS2-RA13RはMTが基準となります)



防錆皮膜処理

型式 MD

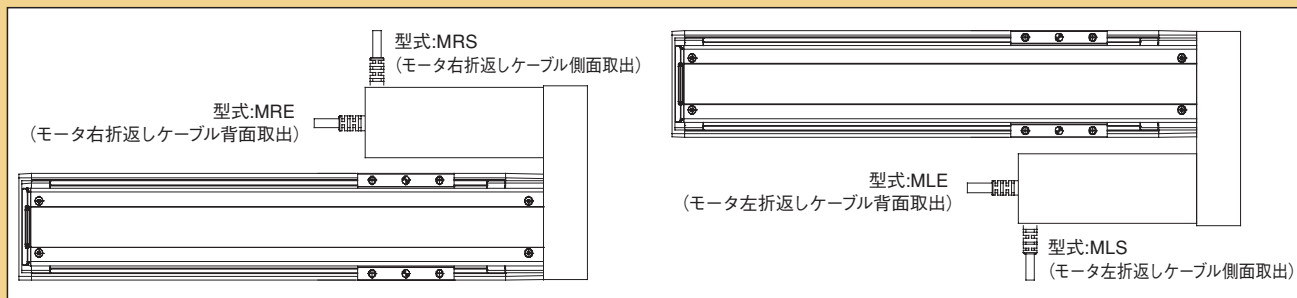
説明

SSPAシリーズ専用のオプションです。ベース基準面(底面・側面)、スライダ基準面(上面・側面)に防錆処理(電解防錆黒色被膜処理)を施します。錆が出やすい環境、発塵を抑えたい場合などに使用します。

ケーブル取出し方向変更（モータ折返しタイプ）

型式 MLE / MLS / MRE / MRS

説明 アクチュエータケーブルの取出し方向を、左背面、左側面、右背面、右側面の4種類から選択出来ます。
※ 取出し方向はいずれかを必ず選択して頂きます。



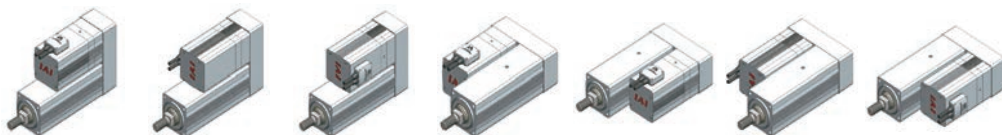
モータ折返し方向 / ケーブル取出位置

型式 MT□ / MR□ / ML□

説明 モータ折返し方向とケーブル取出方向の組合せを指定出来ます。

ご注意

モータ折返し方向 / ケーブル取出位置は必ずいずれかの記号を型式にご記入ください。



オプション記号	MT1	MT2	MT3	MR1	ML1	MR2	ML3
モータ折返し方向	上側（標準）	上側	上側	右側	左側	右側	左側
ケーブル取出位置	上側（標準）	右側	左側	上側	上側	右側	左側

カバーなし仕様

型式 NCO

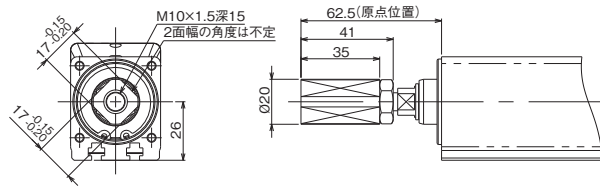
説明 アクチュエータ本体のカバーを取り除くことで、コストダウンとメンテナンス性をアップすることが出来ます。

先端アダプタ (めネジ)

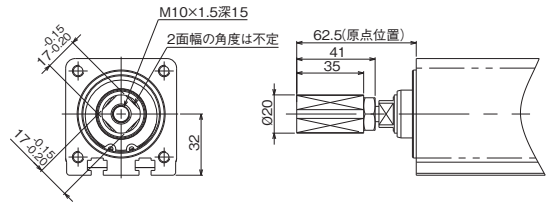
型式 **NFA**

説明 ロッド先端に治具等をボルト1本で取り付けるためのアダプタです。

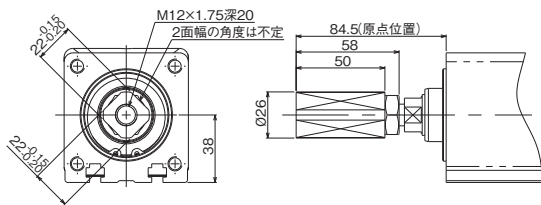
RCP6(S)-RA4□
単品型式 RCP6-NFA-RA4



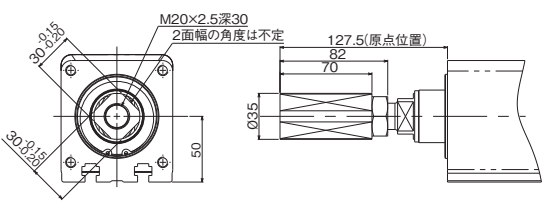
RCP6(S)-RA6□
単品型式 RCP6-NFA-RA6



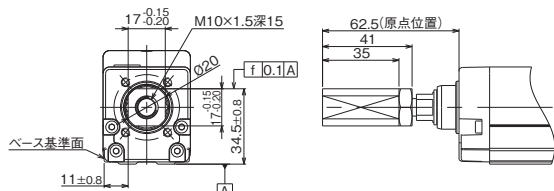
RCP6(S)-RA7□
単品型式 RCP6-NFA-RA7



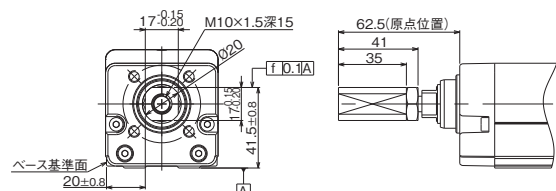
RCP6(S)-RA8□
単品型式 RCP6-NFA-RA8



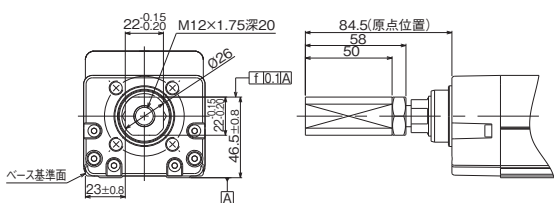
RCP6(S)-RA4□
単品型式 RCP6-NFA-RAA4



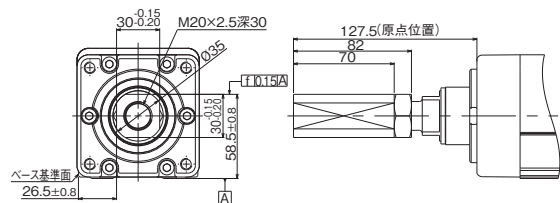
RCP6(S)-RA6□
単品型式 RCP6-NFA-RAA6



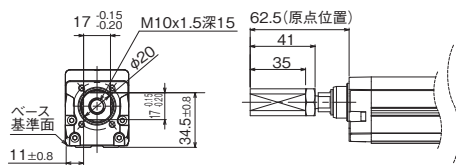
RCP6(S)-RA7□
単品型式 RCP6-NFA-RAA7



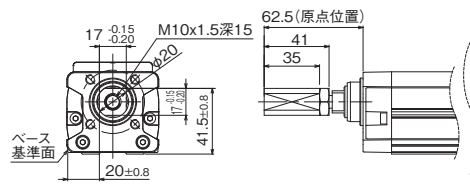
RCP6(S)-RA8□
単品型式 RCP6-NFA-RAA8



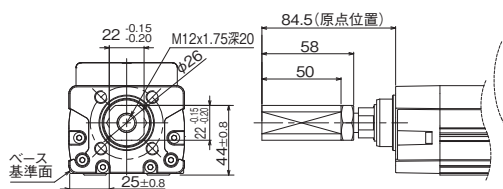
RCP5-RA4C/RA4R
単品型式 RCP5-NFA-RA4



RCP5-RA6C/RA6R
単品型式 RCP5-NFA-RA6



RCP5-RA7C/RA7R
単品型式 RCP5-NFA-RA7



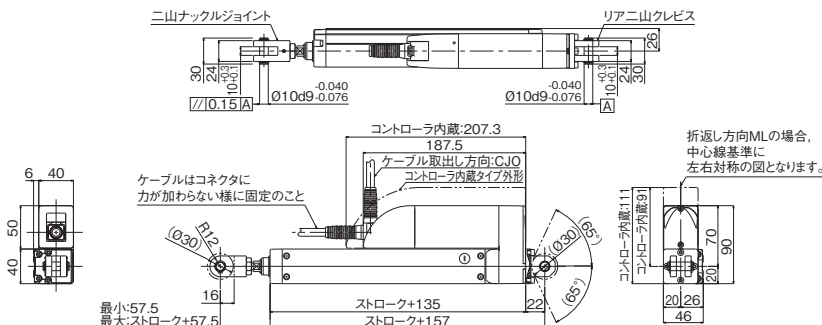
ナックルジョイント

型式 NJ

説明 クレビスやトラニオン金具を使用する際、アクチュエータのロッド先端の動きに自由度(回転)を持たせる為の金具です。

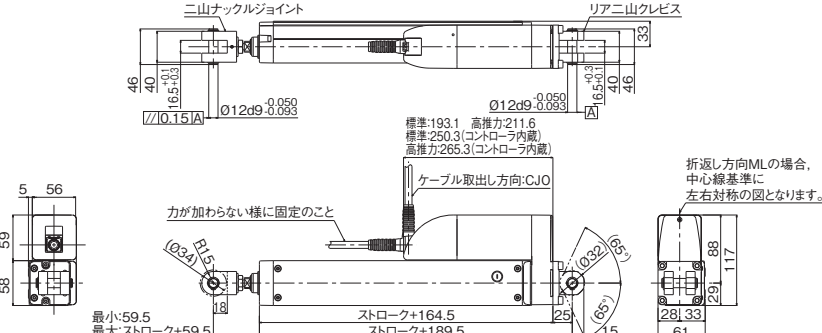
RCP6(S)-RRA4R
単品型式 RCP6-NJ-RRA4R

※RCP6(S)のラジアルシリンダのナックルジョイントとクレビス金具は、図面を参考にして取付けてください。調整基準は図面記載の平行度以内であることを推奨します。また、RCP6(S)はナックルジョイントとクレビス金具をセットでご使用ください。



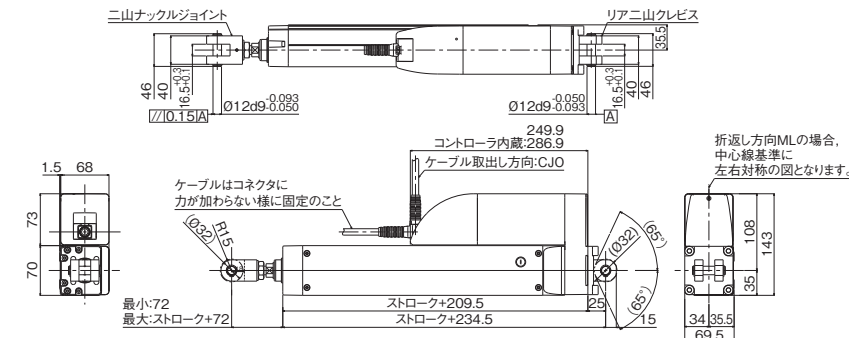
RCP6(S)-RRA6R
単品型式 RCP6-NJ-RRA6R

※RCP6(S)のラジアルシリンダのナックルジョイントとクレビス金具は、図面を参考にして取付けてください。調整基準は図面記載の平行度以内であることを推奨します。また、RCP6(S)はナックルジョイントとクレビス金具をセットでご使用ください。



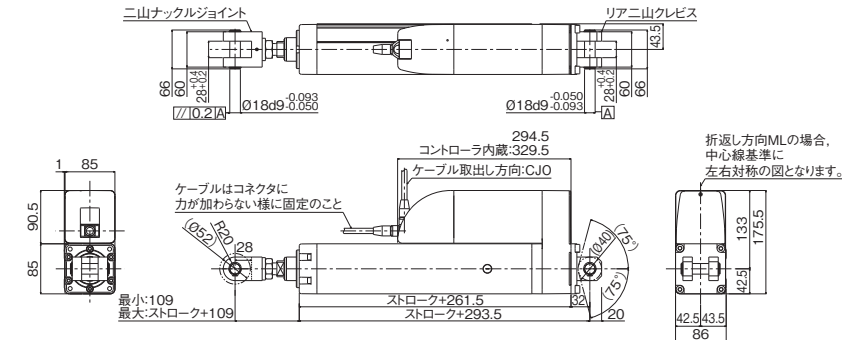
RCP6(S)-RRA7R
単品型式 RCP6-NJ-RRA7R

※RCP6(S)のラジアルシリンダのナックルジョイントとクレビス金具は、図面を参考にして取付けてください。調整基準は図面記載の平行度以内であることを推奨します。また、RCP6(S)はナックルジョイントとクレビス金具をセットでご使用ください。

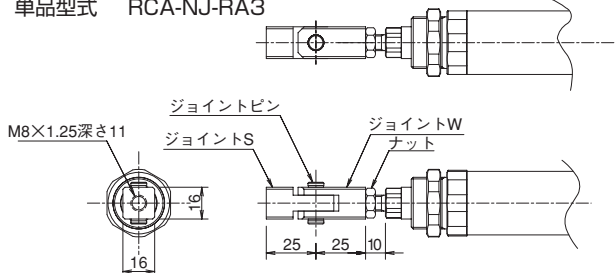


RCP6(S)-RRA8R
単品型式 RCP6-NJ-RRA8R

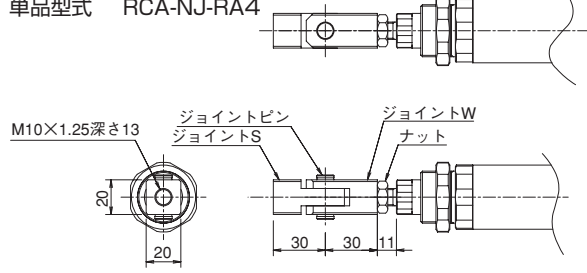
※RCP6(S)のラジアルシリンダのナックルジョイントとクレビス金具は、図面を参考にして取付けてください。調整基準は図面記載の平行度以内であることを推奨します。また、RCP6(S)はナックルジョイントとクレビス金具をセットでご使用ください。



RCA-RA3□用
単品型式 RCA-NJ-RA3



RCA / RCS2-RA4□用
単品型式 RCA-NJ-RA4



原点逆仕様

型式 NM

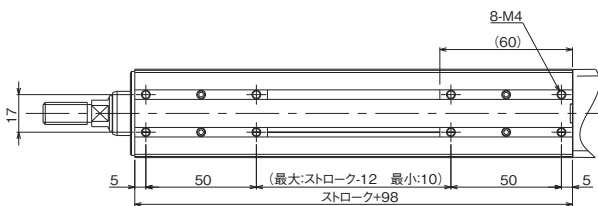
説明 通常原点位置は、スライダ・ロッド・テーブル共にモータ側に設定されていますが、装置のレイアウト等によって逆側にしたい場合は、オプションで原点方向を逆側に設定することが出来ます。(原点位置は工場出荷時に調整して出荷されているため、納品後に原点方向を変更したい場合は弊社に返却して頂き調整が必要となる場合があります)

Tスロットナットバー

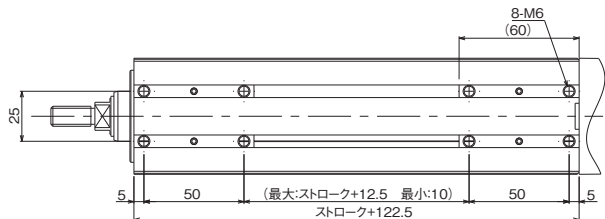
型式 NTB / NTBL / NTBR

説明 アクチュエータのTスロットに差し込むバー状の金具です。Tスロットナットバーには決められた位置にナット穴があります。NTBLはモータ側から見て左側に挿入され、NTBRはモータ側から見て右側に挿入されます。
※ロッドタイプ(RA)はNTBのみ、ワイドラジアルシリンダ(WRA)はNTBL(モータ右折返し)/NTBR(モータ左折返し)が選択できます。

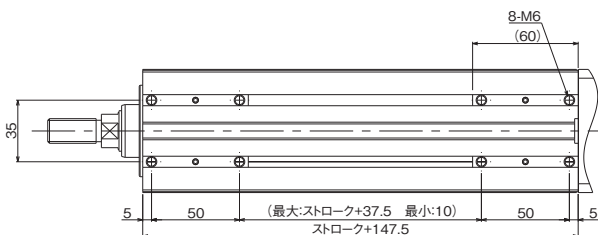
RCP6(S)-RA4□
単品型式 RCP6-NTB-RA4



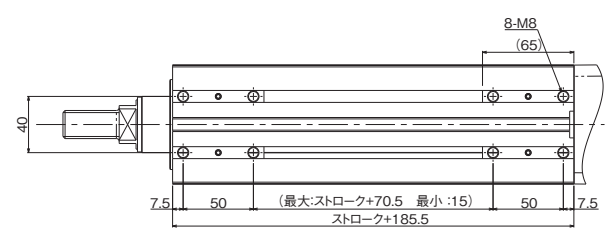
RCP6(S)-RA6□
単品型式 RCP6-NTB-RA6



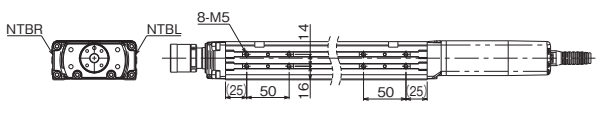
RCP6(S)-RA7□
単品型式 RCP6-NTB-RA7



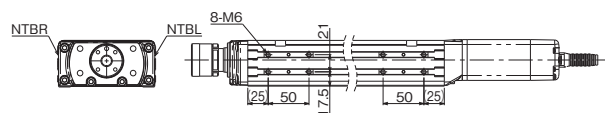
RCP6(S)-RA8□
単品型式 RCP6-NTB-RA8



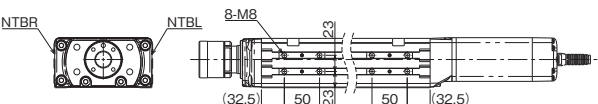
RCP6(S)-WRA10□
単品型式 RCP6-NTB-WRA10



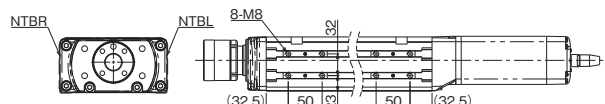
RCP6(S)-WRA12□
単品型式 RCP6-NTB-WRA12



RCP6(S)-WRA14□
単品型式 RCP6-NTB-WRA14



RCP6(S)-WRA16□
単品型式 RCP6-NTB-WRA16



スライダタイプ / ロッドタイプ / テーブルタイプ

スライダタイプ

ロッドタイプ

テーブルタイプ

リニアサーボタイプ

RCA / RCS2-RA4R
単品型式 RCA-QR-RA4

st	φ	L
50	125	242
100	175	292
150	225	342
200	275	392
250	325	442
300	375	492

ロッド先端延長仕様

型式 RE
説明 RCS2-RA7BDと取付穴からロッド先端までの距離を同一にするため、ロッド先端を延長するアダプタです。

背面取付用プレート

型式 RP
説明 モータ折返しロッドタイプ(RA3R/RA4R)の背面を装置に固定するための金具(プレート)です。

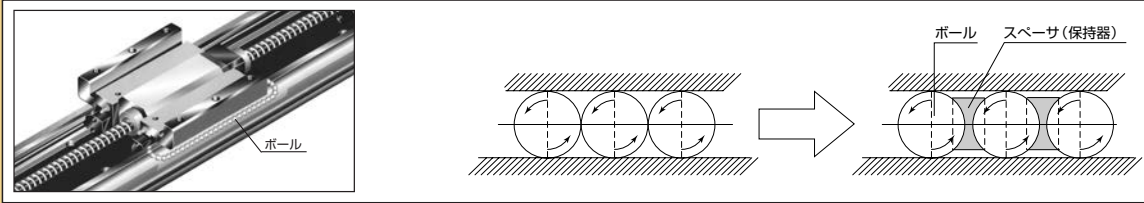
RCA-RA3R用
単品型式 RCA-RP-RA3

RCA / RCS2-RA4R用
単品型式 RCA-RP-RA4

ボール保持機構付ガイド

型式 RT
説明 ガイドのボール(鋼球)とボールの間にスペーサ(保持器)を入れることで低騒音化と長寿命を実現しました。ボール同士の衝突による金属音がなくなるため、耳障りな音が減少します。ボール同士の摩擦による磨耗が減少しますので、ガイドの寿命が延長されます。ボール同士の干渉が無くなるため動きがスムーズになり、スライダの動作性が向上します。

※ ISB/ISPB-SXL/MXL/LXL, ISA/ISPA-WXM/WXMXではご使用出来ません。
※ ISB/ISPB/ISDB/ISPDBのボール保持機構付きガイド仕様を垂直で使用する場合には、一部の機種にて垂直可搬質量が変わりますのでご注意ください。
詳細は各タイプのページをご参照ください。



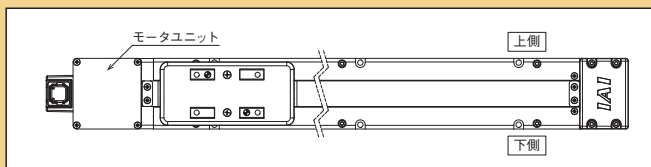
スクレーパ

型式 SC
説明 ロッドタイプを使用する際、ロッドに付着したゴミを本体内部に浸入させないためのオプションです。

左横立て取付仕様 (RCP5-BA用)

型式 SIL

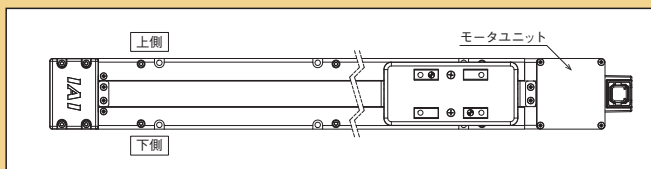
説明 RCP5ベルトタイプで、モータユニット左側の横立て設置を行う場合に選択していただくオプションです。



右横立て取付仕様 (RCP5-BA用)

型式 SIR

説明 RCP5ベルトタイプで、モータユニット右側の横立て設置を行う場合に選択していただくオプションです。



スライダ部ローラ仕様

型式 SR

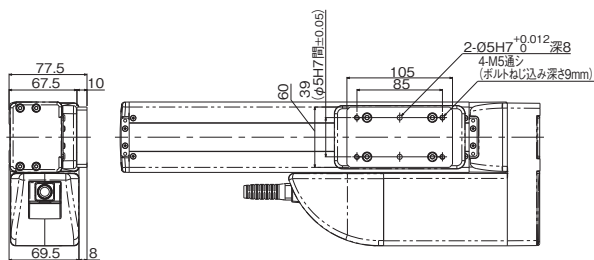
説明 標準のスライダタイプのスライダ構造を、クリーン対応仕様と同様のローラ構造に変更します。スライダ部ローラ仕様になると、スライダカバーの外観及び寸法はクリーン対応タイプと同じになります。

スライダスペーサ

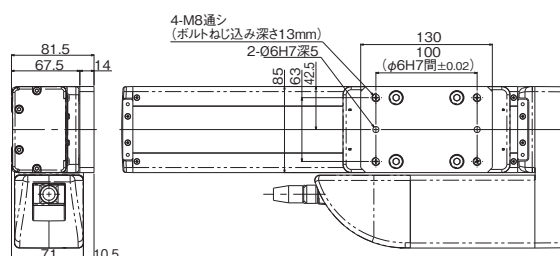
型式 SS

説明 スライダ上面位置を、モータ高さ位置よりも上にするためのスペーサです。

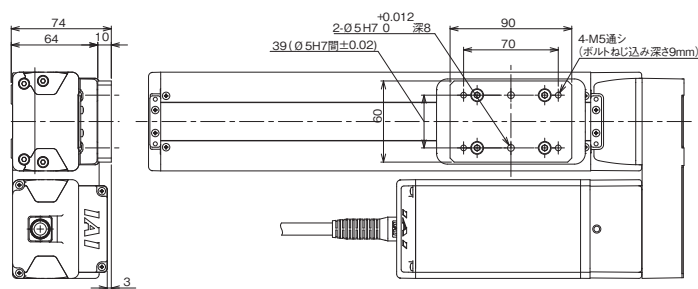
RCP6(S)-SA7R
単品型式 RCP6-SS-SA7



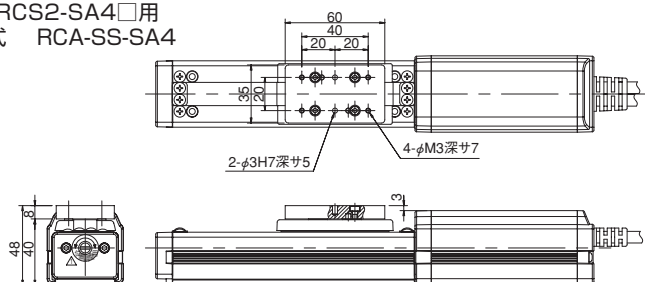
RCP6(S)-SA8R
単品型式 RCP6-SS-SA8



RCP5-SA7R用
単品型式 RCP5-SS-SA7



RCA / RCS2-SA4□用
単品型式 RCA-SS-SA4



■真直度高精度仕様

型式 **ST**

説明

スライダの運動平行度(水平/垂直)、スライダの運動真直度(水平/垂直)の走り精度を高レベルで規定した精密アクチュエータです。それぞれの走り精度はアクチュエータのストローク毎に規定されます。下表は、1mあたりの規格値になります。ストローク毎の規格値の算出方法は、「アルミベースと鉄ベース」の計算例を参照ください。

		アルミベース		鉄ベース	
		真直度高精度仕様 無し	真直度高精度仕様 有り ^(※)	真直度高精度仕様 無し	真直度高精度仕様 有り ^(※)
1	運動平行度 [mm/m 以下]	0.05 〔ストローク500mm以下は一律0.025mmとする〕	0.03 〔ストローク500mm以下は一律0.015mmとする〕	0.05 〔ストローク500mm以下は一律0.025mmとする〕	0.03 〔ストローク500mm以下は一律0.015mmとする〕
2	運動真直度 [mm/m 以下]	0.05 〔ストローク500mm以下は一律0.025mmとする〕	0.020 〔ストローク500mm以下は一律0.01mmとする〕	0.05 〔ストローク500mm以下は一律0.025mmとする〕	0.015 〔ストローク500mm以下は一律0.008mmとする〕

(※)精度測定の方法はIAI検査基準によります。

「アルミベースと鉄ベース」の計算例(真直度高精度仕様 有り)

① アルミベース ISB/ISPB/ISDB/ISPDB/ISDBCR/ISPDBCRシリーズ

例) ストローク 1500mmの場合

運動平行度 → 0.03mm(1mあたりの規格値) × 1.5m(ストローク) = 0.045mm

運動真直度 → 0.02mm(1mあたりの規格値) × 1.5m(ストローク) = 0.03mm

※小数点第4位を切り上げ

② 鉄ベース SSPA/SSPDACRシリーズ

例) ストローク 900mmの場合

運動平行度 → 0.03mm(1mあたりの規格値) × 0.9m(ストローク) = 0.027mm

運動真直度 → 0.015mm(1mあたりの規格値) × 0.9m(ストローク) = 0.014mm

※小数点第4位を切り上げ

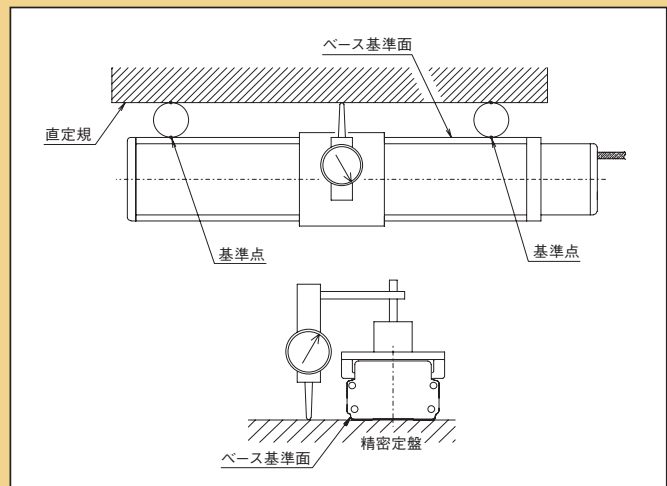
1 運動平行度(水平/垂直)

① ベース基準面とスライダ運動の平行度(水平)

ベースを精密定盤に固定した状態で、スライダ上のインジケータをベース基準面の両端2点と平行に置いた直定規に当て、ストローク全域を移動させたときの測定値の最大差を表します。

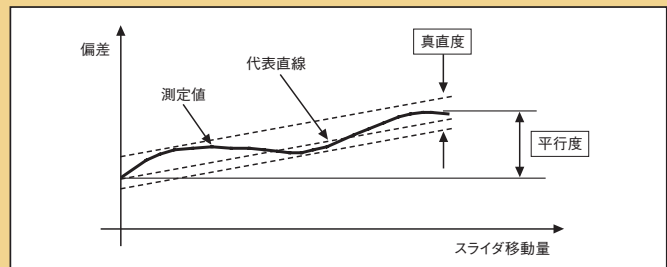
② ベース取付面とスライダ運動の平行度(垂直)

ベースを精密定盤に固定した状態で、スライダ上のインジケータを定盤に当て、ストローク全域を移動させたときの測定値の最大差を表します。



2 運動真直度(水平/垂直)

ベースを精密定盤に固定した状態で、直定規もしくはオートコリメーターを用いて測定したスライダ運動の代表直線からのずれ量を表します。



前トラニオン

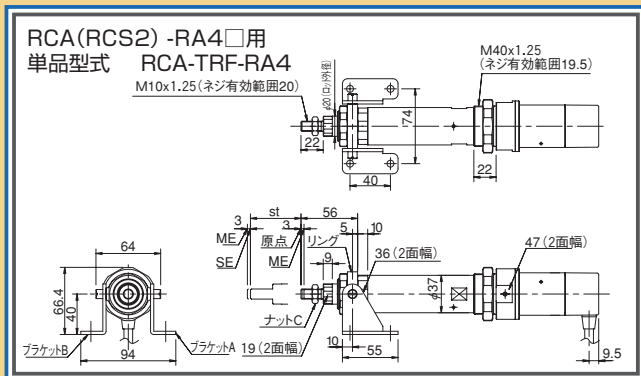
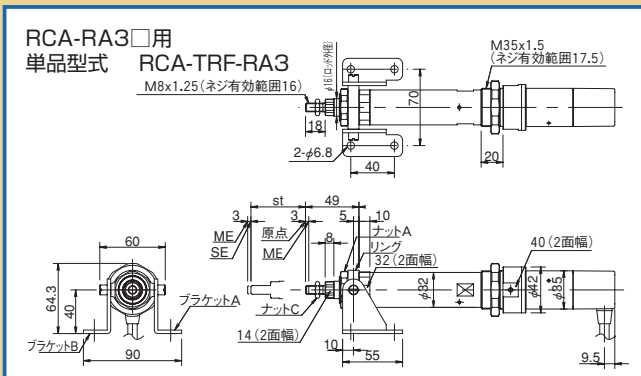
型式 **TRF**

説明 ロッド先端に取り付けたものの動きがロッドの動作方向と異なる場合にシリンダ本体を追従させる為の金具です。



注意

トラニオン金具を取り付けてロッドを移動させた場合、ロッドに進行方向以外からの荷重がかからないよう、ガイド付タイプを使用するか外付けガイドの設置をお願いします。



後トラニオン

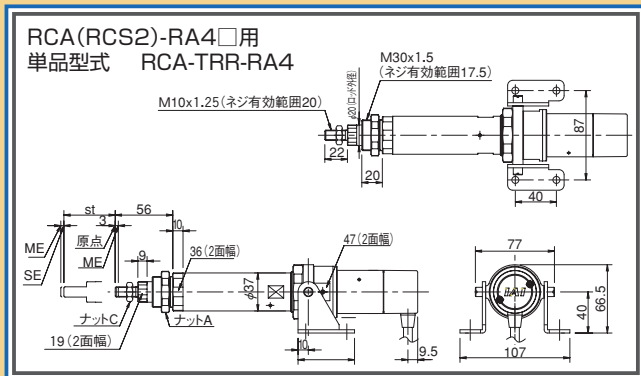
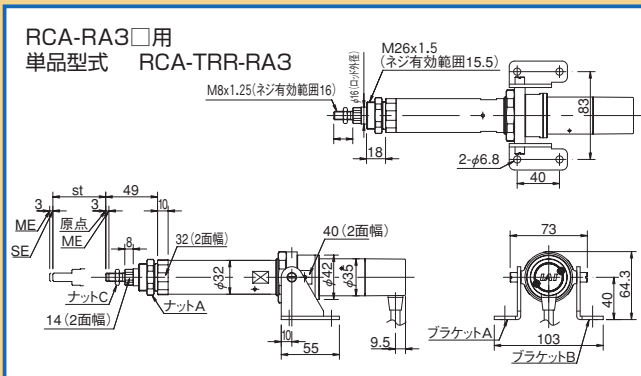
型式 **TRR**

説明 ロッド先端に取り付けたものの動きがロッドの動作方向と異なる場合にシリンダ本体を追従させる為の金具です。



注意

トラニオン金具を取り付けてロッドを移動させた場合、ロッドに進行方向以外からの荷重がかからないよう、ガイド付タイプを使用するか外付けガイドの設置をお願いします。



バキューム継手取付位置勝手違い

型式 **VR**

説明 バキューム継手は標準がモータ側から見て本体左側に設置されていますが、これを右側（勝手違い側）に変更するオプションです。

ダブルスライダ仕様

型式 **W**

説明 ポールネジまたは駆動ベルトに接続されていないフリーのスライダを追加するオプションです。スライダをダブルにすることで、モーメント及び張出し負荷長を大きくすることが出来ます。
※ 中間サポート付タイプ (MXMX/LXMX/LXUWX/MX/LX) では使用出来ません。
ダブルスライダの動的許容モーメント・張出し負荷長に関しては、1-337 ページをご確認ください。